

「ジュニアリサーチノート」募集要項

項目	内容
投稿できる人	原則として、投稿時に高等学校に在籍している生徒。1 名による単著、複数名による連名のいずれも可。
会員資格	不要
対象分野	岩石・鉱物・鉱床・結晶・地質現象など、鉱物科学とその関連分野
原稿の長さ	掲載誌面 6 ページ以内(図・表を含む。目安は合計約 15,000 字)
投稿期間	随時受け付け
費用	投稿料・掲載料(ページチャージ)はかかりません
英文要旨	推奨しますが、必須ではありません(付ける場合は 300 語以内)
査読	専門家が教育的な観点から読み、改善のための助言を返します

1. 募集する研究

例えば、次のようなテーマが対象になります。

- 岩石や鉱物、結晶の観察・同定・分析
- 岩石や鉱物の性質を調べる実験
- 岩石や鉱物のでき方、変化、産状を調べる研究
- 岩石や鉱物が関係する地質現象や日常現象に関する研究
- 鉱物科学、岩石学、鉱床学およびこれらに関連する研究

身近な疑問から始めた研究も歓迎します。テーマが投稿対象になるか迷う場合は、研究をまとめ始める前でも事務局へ相談できます。

2. 応募資格と指導教員の関わり

- 投稿者は、原則として論文を投稿する時点で高等学校に在籍する生徒です。日本鉱物科学会の会員である必要はありません。
- 投稿は、1 名による単著でも、複数名による連名でも可能です。複数の高校生が共同で行った研究については、研究および原稿作成に主体的に関わった生徒を著者としてください。
- 研究の主体は、著者である高校生です。研究課題を考えること、観察・実験・分析を行うこと、得られた結果を解釈すること、原稿を作成することの中心を、高校生が行ってください。
- 指導教員は、研究計画、安全管理、実験・分析、文章のまとめ方などについて助言できます。ただし、原則として共著者には含めず、原稿の「謝辞」に記載してください。

指導教員の方へ：投稿前に、研究の主体が生徒本人にあること、必要な許可や安全上の配慮がなされていること、引用や図表の利用に問題がないことをご確認ください。

3. 原稿の基本構成

次の順序を基本にすると、初めて論文を書く人にもまとめやすくなります。研究内容に応じて、見出しの名称や分け方を変えても構いません。

1. **はじめに**：何を疑問に思い、何を明らかにしたいのかを書く。
2. **試料と方法**：何を使い、どこで、どのように観察・実験・分析したのかを書く。
3. **結果**：実際に得られた実験データや観察事実を、図・表とともに示す。
4. **考察**：結果から何が分かるのか、先行研究と比べながら自分の考えを述べる。
5. **まとめ**：研究で明らかになったことを簡潔に示す。
6. **謝辞**：指導教員、実験・分析・調査の協力者、試料提供者などへの感謝を書く。
7. **引用文献**：本文中で参照した本、論文、資料などを一覧にする。

4. 投稿原稿の長さと言式

原稿の長さ	掲載誌面は、図・表を含めて 6 ページ以内です。本文だけの場合は全角約 15,000 字に相当しますが、図・表を掲載する場合は、その分だけ本文を短くしてください。
用紙と余白	A4 判、上下 3 cm、左右 2.5 cm。
文字フォント・サイズ	日本語は明朝系 12 ポイント、欧文は Times 系 12 ポイント。
行間	1.5 行
ページ番号・行番号等	本文の各ページにページ番号と行番号を付ける

5. 原稿 1 ページ目に記載すること

- 原稿の種類：「ジュニアリサーチノート」
- 日本語のタイトルと、その英訳
- 著者名と、著者名のローマ字表記
- 所属（学校名）・学校の所在地（自宅住所ではありません）と、それらの英訳
- 連絡担当者（Corresponding author）の連絡先。連名の場合は、著者の中から連絡担当者 1 名を定め、電子メールアドレスを記載してください。
- 英文要旨（任意。付ける場合は 300 語以内）
- 英語のキーワード 3-10 語

6. 図・写真・表と引用文献

6.1 図・写真

- 図・写真には Fig. 1, Fig. 2 のように番号を付け、図のタイトルと説明文（英語を推奨します）を付けます。
- 図中の文字（英語を推奨します）は、印刷時に縮小しても読める大きさにします。
- ファイル形式は、PDF, GIF, JPEG (JPG), TIFF (TIF) のいずれかで保存し、解像度は 300-600 dpi を目安にします。
- カラー図・カラー写真を無料で掲載できます。
- 複数の図・写真を 1 枚にまとめる場合は、a, b, c のように区別します。

6.2 表

- Word の表または Excel で作成し、Table 1, Table 2 のように番号を付けます。
- 表のタイトル(英語を推奨します)を記載します。
- 表を画像として貼り付けず、数値や文字を編集できる形で保存します。

6.3 引用文献

本や論文の内容を参考にした場合は、本文中の該当箇所に出典を示し、原稿末尾の「引用文献」欄に、その文献の情報を記載してください。他者の文章・図・写真・データを、引用文献として示さずに使用してはいけません。

7. 投稿方法

原稿は、電子メールにファイルを添付して投稿します。投稿時には、次のファイルを準備してください。

- 本文：Word または PDF(タイトル、著者情報、本文、引用文献、図・表のタイトルなどを含む)
- 図：図ごとの PDF, GIF, JPG, TIF ファイル
- 表：表番号順に 1 つの PDF にまとめたもの(元データは Word または Excel で保存しておく)

本文・図・表を合わせたファイルサイズは、できるだけ 11 MB 以内にしてください。受理後には、本文の Word ファイル、図の元ファイル、表の Word または Excel ファイルを提出してください。

投稿先	gkk_editorial@spa.nifty.com
件名	【ジュニアリサーチノート投稿】論文タイトル
メール本文	原稿種類、タイトル、著者名、投稿者の連絡先、添付ファイル名を記載してください。

8. 投稿後の流れと査読

1. 編集事務局が、必要なファイルと書式がそろっているかを確認します。
2. 鉱物科学の専門家が原稿を読みます(査読)。
3. 査読者から、より分かりやすくするための修正点がコメントされ、原稿が返されます。
4. 著者はコメントを検討し、原稿を修正して再提出します。
5. 修正内容を確認したうえで、掲載の可否が決まります。場合によっては、再度修正コメントがあります。

ジュニアリサーチノートの査読：研究の完成度だけでなく、研究の着想、方法、考え方を重視します。大規模な追加実験や、高校生には過度に高度な解析を求めることは原則として避け、具体的で前向きな助言を行います。

9. 研究倫理と安全のための大切な約束

学術論文として発表するためには、結果の面白さと同じくらい、研究の進め方が公正で安全であることが重要です。そのためには、以下の約束を守る必要があります。

- 法律、条例、施設や学校のルールを守る。
- 国立公園・国定公園・保護地域・私有地などに無断で立ち入ったり、許可なく試料を採取したりしない。
- 観察・実験・分析のデータを、作ったり、都合よく変えたり、重要な結果を隠したりしない。
- 他者の文章、考え、図、写真、データを使う場合は、引用を明示し、必要な許可を得ること。
- 実験や調査では、指導教員と相談し、安全を最優先する。
- 研究の主体が高校生本人であることを明確にし、協力者への謝意を謝辞に記す。

データの信頼性や調査方法に重大な問題がある場合、または研究倫理上看過できない問題点がある場合は、掲載できないことがあります。

10. 受理後の掲載と著作権

- 受理後、著者が校正刷りを確認します。校正では誤字などを確認しますが、原稿の内容を大きく書き換えることはできません。
- 論文は「岩石鉱物科学」の電子ジャーナルに掲載され、インターネット上で公開されます。
- ジュニアリサーチノートにはページチャージはかかりません。
- 掲載された論文の著作権は、一般社団法人日本鉱物科学会に帰属します。

11. 投稿前チェックリスト

- ☐ 投稿時に高校生であり、研究の主体が、著者である高校生にある
- ☐ 原稿は図・表を含めて掲載 6 ページ以内にまとめた
- ☐ 日本語タイトルと英語タイトル、著者名のローマ字表記を付けた
- ☐ 学校名・学校の所在地とその英訳、連絡先メールアドレスを記載した
- ☐ 英語キーワードを 3-10 語付けた
- ☐ 図・表に番号と英語のタイトル・説明を付けた
- ☐ 引用した文献を引用文献欄に記載した
- ☐ 指導教員や協力者への謝意を謝辞に記載した
- ☐ 試料採取の許可、著作権、安全、研究倫理に問題がないことを確認した
- ☐ メール本文に必要事項と添付ファイル名を記載した

12. 問い合わせ先

投稿できるかどうかの相談 日本鉱物科学会事務局 KYL04223@nifty.ne.jp

原稿の投稿先 「岩石鉱物科学」編集事務局 gkk_editorial@spa.nifty.com